

# III

# 沖縄県におけるキャリア教育の推進について

## 1. 沖縄県のキャリア教育の基本的方向性

本県においては、2010年に「沖縄21世紀ビジョン」が策定され、未来の沖縄を担う子供たちに対して、キャリア教育の視点を踏まえた取組を推進し、確かな学力の向上や能力等を引き出す学校教育の充実を図ることが示された。また、「沖縄県教育振興計画（後期改訂版）」（2017年）においても、「自ら学ぶ意欲を育て、学力の向上を目指すとともに、豊かな表現力と粘り強さを持つ幼児児童生徒を育成する」ことを目標に掲げている。

社会の変化と「沖縄県児童生徒キャリア形成等調査」で明らかになった本県の児童生徒の課題を踏まえて、沖縄県のキャリア教育の目標及び目指す児童生徒像などを、次のように設定する。

### ① キャリア教育の目標

沖縄県におけるキャリア教育の目標

**目的意識を持って、様々な人と協働し、社会を支える自立した人材の育成**

- 目的意識を持って  
学校や家庭において、進路選択など将来を見据え、何のために行動するのかを意識すること。
- 様々な人と協働し  
グローバル化やインクルーシブなど共生社会が進展する中、多様な価値観や異なる背景を持つ様々な人と、対話や議論を通じて、協働していくこと。
- 社会を支える  
自らの能力を発揮し、社会の一員として積極的に社会参画すること。
- 自立した  
自分で考え、計画して行動に移すことができ、変化の激しい社会の中でも主体的に判断できること。

### ② 目指す児童生徒像

沖縄県の目指す児童生徒像

**自分で考え、計画して、行動に移すことのできる児童生徒**

最終的に、自分で考え、計画し、それを実行するのは児童生徒自身である。困難な課題に直面しても、あきらめず、行動し挑戦し続けることのできる児童生徒へと導くことが、また、将来の目標に向けて、教職員や保護者は児童生徒と共に考え悩み、寄り添い支えながら、児童生徒自身も主体的に目標に向かって努力する方向へ導くことが重要である。

なお、各学校においては、目の前の児童生徒の現状をふまえた具体的な目標の設定や指導の在り方について学校や教員の裁量に基づく多様な創意工夫が求められていることから、沖縄県のキャリア教育の基本的方向性を参考としつつ、各学校のキャリア教育目標や目指す児童生徒像などを設定することが必要である。